

武蔵野市立保健センター機能充実検討有識者会議(第4回)会議要録

日 時 : 令和4年7月11日(月曜日) 午後7時から午後8時10分
場 所 : 市役所西棟4階412会議室
出席委員 : 田原順雄委員(座長)、星野衛一郎委員(副座長)、中嶋伸委員、飯川和智委員
田原なるみ委員、大田静香委員、橋本創一委員
事務局 : 総合政策部長ほか

1 開 会

2 配付資料の確認

3 報 告

事務局より「資料1 市議会全員協議会(令和4年6月28日)主な質疑・回答要旨」

【座長】市議会全員協議会での主な質疑・回答要旨に関する資料と、市議会全員協議会で提出した資料について説明があった。各委員よりご意見をいただきたい。

【委員】市議会全員協議会での質問は、概ね想定内であった。市議会議員の意見の中で、より先進的な医療機器の導入を検討してはどうか、という意見があった。健康づくり事業団が実施する事業の特色の1つに、医療機関からの依頼により検査を実施し、「かかりつけ医」を下支えるという役割がある。増築後、現在の医療機器をそのまま移転するという事だけではなく、時間はまだあるので、新たな医療機器の導入など、何か工夫をしても良いかもしれない。

【座長】「より先進的な医療機器の導入を検討する」という考え方と、逆の考え方で「医療機器を保有する必要がないのではないか」、というご意見もあった。最先端の医療機器を導入した場合、購入費用に加え、検査ができる人材確保の費用も必要となる。更なる最先端医療機器の導入というより、現在保有する医療機器を更新しながら使っていく、という事が大切だと思う。

【委員】ICTの導入について、増築と大規模改修が終わり、供用が開始される5、6年先の時点で、具体的にどういった設備が設置されているべきだ、と述べることは難しい。ただ、このICTの分野は、医療分野と親和性が高い。建設にあたっては、ICTの専門的な話も聞いた方が良いと思う。

【座長】本年5月の「経済財政運営と改革の基本方針」においても、医療のDX化の推進が強く打ち出されている。DX化に対応できる施設をつくる事を前提に考えていかななくてはいけない。具体的な事例はなかなか難しいが、健康データの活用、ICTツールの活用、マイナンバーの活用など、そういった意識を持ち、対応できる施設をつくるのが大切だ。

【委員】動線イメージの資料は、利用者の動線が分かりやすく作成されている。市議会の質問も、「なるほど」と頷けるものもいくつかあった。市民に対して、引き続き本事業の説明を発信していく中で、複合施設として色々な施設が繋がっていることをわかりやすく示す必要がある。例えば、母親の妊娠期から始まり、乳幼児期、小・中学生、成人、高齢者となる中で、ライフステー

ジに応じたサービスを縦軸で示し、横軸で支援の内容や範囲などをイラスト等により、事例的に示すと良い。

【委員】昨年度から、母子保健分野の相談記録をシステム化した。「こんにちは赤ちゃん訪問」や「産後訪問」の報告書類をデジタル化しているが、一部の書類は様式を印刷して、手書きで記載をした後、スキャンしている書類もある。更なるデジタル化を進めていく必要がある。

また、オンライン相談も今後増えてくると思う。現在の保健センターは通信環境が悪く、強化が必要だ。

【副座長】市議会全員協議会で、ICTやDXを導入すれば相談室は不要ではないか、という意見もあったが、「人対人」は支援やサービスの基本であるため、そういった重要性もしっかり押さえておいて欲しい。また、ICTやDXを積極的に導入することにより、よりセキュリティの重要性も増してくる。動線の図について、利用者の動線図が作成されたが、これに職員の動線も加えていく必要がある。バックヤードで従事する職員が、来館者と頻繁にすれ違うような事があると混乱が発生すると思う。

【委員】実際に増築・移転、また大規模改修が完了し、新しい施設の運用を開始するのは大分先になる。有識者会議の中で出た意見で、現時点でも活用や導入ができる設備等があれば、前倒しでやっても良い物もあると思う。

4 議 事

議事1 武蔵野市立保健センター機能充実検討有識者会議報告（案）について

事務局より「資料2 武蔵野市立保健センター機能充実検討有識者会議報告（案）」を説明

【座長】報告の案について各委員から意見をいただきたい。

【委員】有識者会議報告（案）について、大きく修正していただきたい点はない。第1回の会議でも発言したが、保健と医療が一体化した保健センターの設置は他の地域では難しいと思う。こうした保健センターを運営してきた武蔵野市の歴史を尊重し、大事なものは残しつつ、更に市民の保健衛生を推進していただければ良いと思う。

【副座長】自殺対策がどのように保健センターと関係してくるか、興味深くもあるが、なかなか難しい課題である。自殺の原因は、いじめやDVなど様々であるが、保健センターとして、医療や保健からの視点から、対応できることがあると良いと思う。

【委員】第1回目、第2回目の内容を中心に、報告は良く纏まっていると思う。

【委員】報告はよく纏まっていると思う。1点改めて発言しておきたい事は、エネルギー問題が最近では更に強くいわれている中で、建物の断熱など省エネに寄与する建築、また、自家発電等恒久的に使用できるような設備の設置などを、施設計画では配慮をしていただきたい。

【委員】報告の構成について、「計画素案からの引用」と「今回の有識者会議での意見」の区別が、更に分かりやすくなるよう、工夫をしてもらいたい。

【座長】保健センターは、オールライフステージにわたって市民を支援する必要があるので、報告において自殺について言及する必要もあり、また、子ども・子育ての支援に関する記載も必要だと思う。更に、従来の健診・検診など保健センターの中心となる機能も、報告の中心に記載されバランスも良いと思う。

議事2 その他について

- 【座長】本日は有識者会議として、最後の会議となる。概ねご意見は伺ったが、今回の有識者会議全体の総括を各委員にお願いしたい。
- 【副座長】増築、改築を考える中で、当初はどんな建物を建てるかと効率的であるか、という観点を中心に考えていたが、有識者会議で出された様々な切り口、または論点に大変驚き、勉強になった。ハードの面も大切だが、最終的には今回の有識者会議で出されたような様々な意見が集約され、建物に反映され、運営されていかなければいけないと分かった。
- 【委員】何十年たっても新しさを失わないような、他の自治体に誇れるような保健センターをつくってもらいたい。先ほど話にあった最新の医療機器については、AIによる自動診断の進歩が急速に進んでいる。5、6年先はAIによる診断が当たり前になっているかもしれない。AIを含めたDXを前面に出した施設にしていきたい。
- 【委員】武蔵野市のようなコンパクトで、財政の豊かな自治体が、子どもや子育て支援施設を複合化した保健センターを作るとは、大変良いことだと思う。子どもが増えて公園で遊んでいる姿を見るといいなあという気持ちになると思う。子どもたちの未来が、豊かになる施設を作っていただきたい。
- 【委員】武蔵野市には、地域医療との連携など歴史のある地域資源があるため、他の自治体が武蔵野市と同じような保健センターを作りたくても作れない。今後、子ども施設や教育との連携も推進され、更に素晴らしい施設になるのではないかと、楽しみにしている。
- 【委員】現在、様々な場所にある相談機関などが、1つにまとまることは大変楽しみ。現在の保健センターの不便さも実感しているので、今不便と思われるところを改善して、使いやすい施設にしていきたい。
- 【委員】国の施策としての、こども家庭庁設置の動きなどに対応することは当然のことと思われるが、武蔵野市や武蔵野市民が、どのような状況にあつて、どのようなニーズがあるのかという話が重要なので、武蔵野市の地域性を大切にしてもらいたい。保健や医療の情報も蓄積されているので、今後、こうしたデータを活用して、武蔵野市ならではの保健センターの機能が、ブラッシュアップされていくと良い。
- 【座長】保健センターの増築・大規模改修について、市議会でも予算案に付帯決議が決議され、本有識者会議が設置されたが、改めて、武蔵野市民の現在から将来に向けての健康を考える、非常に貴重な機会になった。現在は、健康である事自体が目標ではなくて、生きがいや人生の目標を達成するための手段、またQOLを高めるための手段だと考えられるようになった。保健センターの役割も昭和60年代からは変わってきている。法律が改正されたり、保健所が統合されたりするなど、様々な歴史的経緯があり、現在のかたちがある。その中で、将来にわたって保健センターにはどういう事が必要か、という事を考える非常に貴重な機会であった。素案が公表された時は、保健センターを複合施設にして、子ども・子育て支援機能のためにある程度スペースを確保することに疑問を持っていた。有識者会議での議論の際に述べたとおり、これからの日本を考えると2つの大きな課題が考えられる。少子高齢多死社会により子どもの数が減っていく、つまり生産年齢人口が減っていくことにつながる。もう1つは、首都直下地震が必ず起こるであろうという事がいわれている。そういった事を考えた時に、保健センターに「妊娠期から切れ目のない

支援体制」をつくっていく、それに加えて、感染症や災害に対応できる施設であるべきであると、
いう考えに至った。こうしたことは、昭和 60 年代にはあまり意識されていなかった事であり、
DX の概念や、健康に関する考え方も変化してきた。こうした事に対応できる施設について検討
したこの会議は、大変有意義であった。市議会の意見も参考に、より充実した施設となることを
期待している。

事務局より 事務連絡

【事務局】

本日追加でいただいたご意見等を反映した報告（案）を、各委員には再度ご確認をいただきたい
と思う。最終的には、軽微な修正などは座長に一任していただき、座長確認をもって正式な報告
の完成とさせていただきたい。なお、本施設に関する今後の予定としては、本有識者会議でのご
意見、市議会のご意見、計画素案でいただいたパブリックコメントのご意見等を参考に計画案を
作成していく。今後の進捗については、随時各委員にご報告をさせていただく予定だ。また、今
回の議事録についても、従前のおりご確認をお願いしたい。

【座長】 第 4 回武蔵野市立保健センター機能充実検討有識者会議を閉会する。